

平成30年度親和自治会第三回映画サロン

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成30年08月05日

平成30年度親和自治会の第三回映画サロンが向原市民センターで開催されました。今回は1980年(昭和55年)作品で山田洋二監督の「遙かなる山の叫び声」が上演されました。この映画は誤って人を殺して警察に追われる男と、牧場を経営する母子の出会いを描いた人情ドラマで、同が監督・脚本を担当して、北海道東部の中標津町を舞台に見事に四季の映像を織り込んだ作品です。(主演；高倉健、倍賞千恵子)

ある嵐の夜、一人の男が酪農を営む風見民子のもとに突然訪れ止めて欲しいと懇願するところから話が始まり、その中での種々の展開の生活が始まります。

映画の内容の説明は「シネマクラブ HIBARI」代表の秩父様にして戴きました。

秩父様



働く事になった牧場



牧場での作業開始



馬に乗せてもらう





馬の調教指導



兄との再会／別れ



競馬メインレースで優勝した



会の代表
木下様



親和映画サロン

『遙かなる山の呼び声』



8月5日(日)14:00～ お茶代 200円

於：向原市民センター 第3集会室

山田洋次 監督 1980年作品 日 上映時間 124分
出演 高倉健 倍賞千恵子 武田鉄也 ハナ肇 吉岡秀隆 渥美清

誤って人を殺して警察に追われる男と、牧場を経営する母子の出会いと別れを描いた人情ドラマ。『男はつらいよ』シリーズの山田洋次が監督・脚本を担当。北海道東部の中標津町を舞台に見事な四季の映像を織り込んでいる。いわゆる民子三部作(1970年の『家族』、1972年の『故郷』)の第三作で、タイトルは映画『シェーン』の主題曲名である。

ある嵐の夜、一人の男が酪農を営む風見民子のもとを突然訪れ、雨風しのぎにどこでもいいで止めてほしいと懇願。民子は男を物置小屋に泊まらせる。深夜の牛の出産を手伝った翌朝、男は礼を言い立ち去るが、民子の息子から礼金を受け取る時に父親を亡くしたことを知る。再びその男、田島が民子のもとを訪れ自分を農作業員として雇うよう懇願する。民子は田島をしぶしぶ雇い入れたが、田島への警戒感を隠さなかった・・・

問合せ：親和自治会7組 木下 清 TEL 090-2656-2343